

は し が き

本書を使用される方々へ

2006年の今、近年の急速な世界のグローバル化、情報化に伴い、世界共通語としての英語によるコミュニケーションの必要性は、口頭によるもの、インターネットなどを通してのリーディング、ライティングを問わず、誰にでも必至の状況にあります。そして、この現実に対応できる実践的技能を持った人材を輩出できる大学教育の必要性が求められています。

著者は、長年のライティング指導の経験から、日本の大学生が基本的な英文の表現技法を効果的に習得するには、まず、学生が主張したいことについての論理的展開の仕方を理解すること、そして、日本語の直訳では正しい英文を作ることが出来ないことを把握し、英語らしい英語の書き方を日本語との対比から習得することが最も大切なことであると考えています。

本書では、日本語とは違った英語のパラグラフの展開方法を紹介し、中学、高校で学習した基本的な文法を復習しながら、特に日本語に引きずられがちな文体にも焦点を置き、英語らしい文が書けるよう構成されています。また、できるだけ冗長な説明は避け、学生が問題を発見して自主的にポイントを学んでいけるように、多くの練習問題を用意しました。

本書の構成は、以下のとおりです。全体が2つのパートに分かれており、**Part One**「パラグラフの書き方」(1章～17章)では、まず1章(導入、序論の章)で、「パラグラフとは何か」を理解し、2章～17章で「列挙」、「原因・結果」、「類推」、「意見」など、パラグラフの様々な展開方法を章ごとに学びます。それぞれの章で提示されたサンプルパラグラフのテーマには、社会問題、環境問題など大学生の教養として大切なものを多く取り上げました。

Part Two「エッセイの書き方」では、**Part One**で学んだことを念頭に、18章では、パラグラフから発展して「エッセイとは何か」を理解し、19章では、「効果的なエッセイの書き方」を学び、20章では、大学でのレポートや、さらに将来社会人となって報告書などを書く時にも必要となる「要約の書き方」を学びます。

本書の中心となっている**Part One**の2章から17章まで、各章の構成は次のようになっています。

- (1) **Sample Paragraph** その章で紹介するパラグラフの展開方法を用いた英文で始まります。学生はまずこの英文を読み、その内容についての質問に答えることで、そ

の章で学ぶべきポイントが喚起されます。また、英文中に波線でその章で扱う文法項目や表現法などに当たる部分が示されています。また、パラグラフの内容理解を助ける質問と**Topic Sentence** や **Concluding Sentence**を見つける練習が用意されています。

- (2) **Useful Expressions** その章で扱うパラグラフの展開方法によく使われる表現のリストです。
- (3) **Writing Exercises** その章で扱うパラグラフの展開方法を使って作文の練習をします。**Topic Sentence** と **Concluding Sentence** はすでに提示されているので、展開方法に集中して練習ができます。
- (4) **For Better Writing Sample Paragraph** に波線で示された文法項目の復習や、自然な英文を書くのに大切な文体などの解説と練習問題で構成されています。

本書を使うことにより、学生が英文の展開方法を理解し、書くことに慣れ、英文で自己表現することを楽しめるようになれば幸いです。

本書の執筆に際し、**Ann Carman**さん、**Mary Gries**さんにたびたびアドバイスをいただきました。また、全体を通しての英文校閲は、**Anna Isozaki**さんにしていただきました。ここに心よりの感謝を申し上げます。

最後に、本書を出版するに当たり、金星堂の嶋田和成氏、矢島里奈氏には大変お世話になりましたこと、心より感謝しています。

2006年9月 著者

パラグラフの書き方

Chapter 1	パラグラフとは	2
Chapter 2	列挙	▶ 無生物を主語にして 6
Chapter 3	例示	▶ 名詞構文 10
Chapter 4	原因・結果	▶ 動名詞 14
Chapter 5	結果・原因	▶ 文修飾の副詞 18
Chapter 6	比較	▶ 関係副詞 22
Chapter 7	対照	▶ 不定詞 26
Chapter 8	分類	▶ 省略 30
Chapter 9	分析	▶ 関係代名詞 34
Chapter 10	定義	▶ 分詞構文 38
Chapter 11	過程	▶ 分詞 42
Chapter 12	問題解決策	▶ 倒置 46
Chapter 13	理由	▶ 「時」を表す語を主語にして 50
Chapter 14	時間的順序	▶ 副詞節を使わずに 「前置詞＋名詞」で 54
Chapter 15	空間的配列	▶ 接続詞を使わずに 「結果」の意味を出す方法 58
Chapter 16	意見	▶ 副詞（句）、前置詞と 時制との関係 62
Chapter 17	類推	▶ 受動態 66

エッセイの書き方

Chapter 18	エッセイ (1)	70
Chapter 19	エッセイ (2)	73
Chapter 20	要約	77
Additional Information	81
For Practice	84

ある事物や主張したい点についていくつかの具体例を一つ一つ並べあげて、パラグラフを展開していく方法である。



Sample Paragraph



City Noise

City-dwellers are surrounded by many different kinds of noise, usually twenty-four hours a day. First, there are the noises within our homes: domestic appliances, stereo systems, TVs, air conditioners, and so forth. Next, there are noises from outside that penetrate into our homes: house and road construction, neighbors' activities, cars with loudspeakers, sirens, airplanes and helicopters, and even nearby factories. Then, when we go out, we are forced to listen to competing, blaring announcements coming at us from every direction, from the supermarket to the record store and even in our favorite coffee shops. Finally, at night, our rest is disturbed by subway construction, road repairs, late night businesses, and hotrodders' motorcycles. These deafening sounds do us harm. The human health effects are well-documented: excessive noise is linked to irritability, hearing loss, insufficient sleep, impaired learning and lowered work efficiency, mental health problems, and even heart disease. Now, many citizens and communities around the world are campaigning and taking legal action, demanding stricter noise control standards for machines and safer, quieter home environments.

Notes

domestic appliance 「家庭用電気器具」 **competing** 「張り合う」 **blaring** 「(サイレン、らっばなどが) 鳴り響く」 **disturb** 「妨害する」 **hotrodder** 「暴走族」 **deafening** 「耳をつんざくような」 **well-documented** 「文書による十分な裏付けがある」 **irritability** 「いらいら」 **impaired learning** 「効率の上がない学習」 **efficiency** 「能率」 **take legal action** 「訴訟を起す」

▶ Sample Paragraph を読み、次の質問に答えなさい。

1. このパラグラフの **topic sentence** を英文から抜き出して書きなさい。

2. 筆者は都市には大きく分けるとどんな騒音があると言っていますか。

- (1) 家庭内で発生する騒音
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____

3. ひどい騒音は人間の健康や生活にどのような害を与えますか。例を3つ書きなさい。

- (1) イライラを引き起こす。
- (2) _____
- (3) _____

4. このパラグラフの **concluding sentence** を英文から抜き出して書きなさい。

Useful Expressions

列挙のパラグラフを書くとき、次の語句が役に立つ。

first	* firstly	first	in the first place
second	* secondly	next	in the second place
third	* thirdly	then	in the third place
fourth	* fourthly	finally	in the last place
last	* lastly		

* **ly** がつくのは堅い語

first and foremost 「何よりもまず、いの一に」

finally, and most importantly 「最後に、最も重要なことは」

last but not least 「大事なことを一つ言い残したが」

the first reason is

one reason is


the second reason is

another reason is

the third reason is

still another reason is 「さらにもう一つの理由は」

the last reason is

 Sample Paragraph の中で、「列挙」を書くパラグラフでよく使われる語句に下線を引きなさい。

Writing Exercises

あなたが日頃ストレス解消のためにしていることを3つ考え、
下線の上に英語で書きなさい。

It is important to know how to relieve stress in order to survive in this stressful world. There are three things that I do to achieve this. First, _____

Next, _____

Finally, _____

This is how I ease stress and keep myself psychologically healthy.

For Better Writing

Sample Paragraphの中から重要な構文を学びましょう。

「無生物」を主語にして英文を書く

日本語では「人」が主語になる表現が多いが、英語では「無生物」を主語にした表現も多い。従って、日本語で「人」が主語になる文でも、「無生物」を主語にすることで、簡潔で引き締まった英文になり、より英語らしくなる。無生物主語の例として物、抽象名詞、動名詞、不定詞、『時』を表す語などがあげられる。(巻末参照)

A 下線部に注意して、各文を和訳しなさい。太字は無生物主語を示しています。

1. His **sense** of duty would not allow him to leave the spot without taking action.

2. **Reading** this book brought me up to date on the situation in the Middle East.

3. My **experience** as a secretary to a politician gave me a different outlook on life.

4. The **thought** occurred to him that it might be fun to make a surprise visit to his uncle.

5. A **glance** at the clock reminded him to leave the pub at once.

6. A ripple effect of the festival was seen citywide. Even small **diners** saw almost 20% more customers. **ripple effect** 「波及効果」

B 次の日本語の下線部を主語とする英文になるように、下から適当な語を選び（ ）内に書きなさい。文頭の文字は大文字に、動詞は必要に応じて正しい形に変えなさい。

1. 科学技術の著しい進歩により、人間は、砂漠であれ、南極であれ、地球のどこにでも住めるようになった。

The (1) progress of technology has (2) humans to (3) in any place on the earth (4) it (5) the desert or the South Pole.

be enable live marked whether

2. 祖父は話好きだったが、卒中を起し、話すことができなくなってしまった。

My grandfather used to be a talker, but a (1) (2) him (3) (4) (5).

leave speak stroke to unable

3. 彼女の表情からすると、私が言ったことを理解していないようだった。

The (1) on her face (2) to me that she did not (3) (4) I had (5) her.

expression suggest tell understand what

C 例を参考にして、次の英文を（ ）内の動詞を用い、「無生物」を主語にして書き換えなさい。

例: Because my parents in London gave me a long-distance phone call, I didn't have to write to them. (save)

➔ **A long-distance phone call** from my parents in London saved me the trouble of writing to them.

1. She changed her mind because of her teacher's advice. (cause)

➔ _____

2. I nearly went crazy because the people upstairs were noisy at night. (drive)

➔ _____

3. Thanks to the beautiful music from the radio, he could forget all the problems he had for a while. (help)

➔ _____

4. I was very happy to hear that my brother got a job with a trading company. (make)

➔ _____